

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。昨年もコロナ、コロナでうんざりする1年となりましたがようやく落ち着きつつあります。ただ昨年末から新種の変異株が出現し、今後はコロナとの共存が重要であると思います。当院はこれまで通り感染対策として3本柱(マスク着用、換気、手洗い)を徹底継続してまいりたいと思っています。



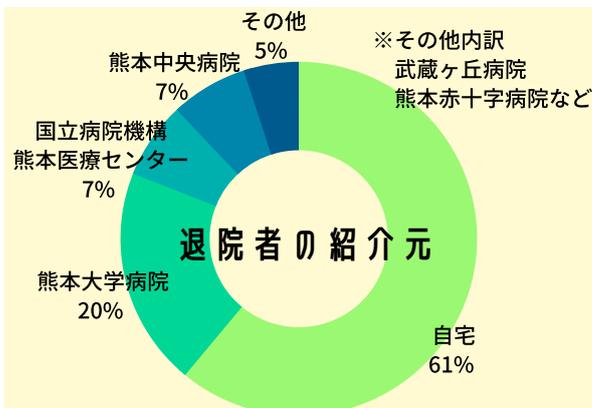
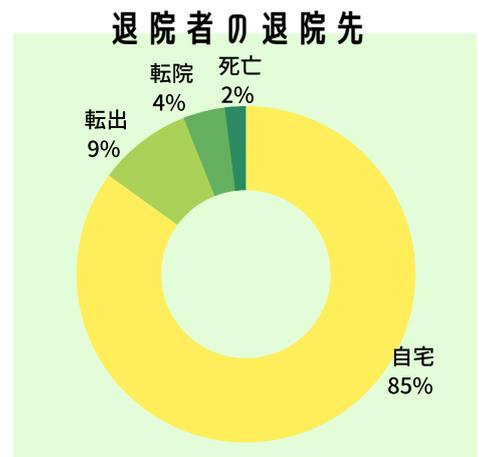
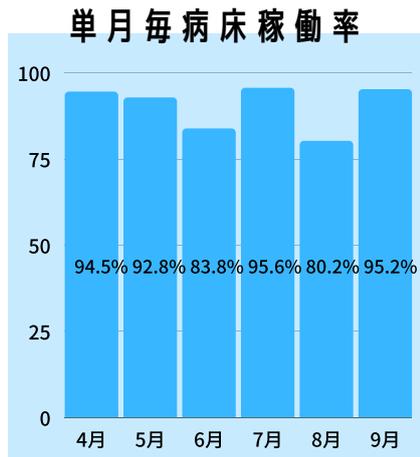
さて、当院は一昨年前に田上心臓リハビリテーション病院に名称を変更し、これまで以上に心臓リハビリに力を入れているところです。現在週に1回の症例検討会、心疾患や生活習慣病の勉強会を医師、看護師、理学療法士、医事課、臨床検査技師、社会福祉士の多職種間で行い、多方面から様々な意見の元、レベルアップはもちろんの事、患者様の情報交換、退院後のフォローの仕方等ディスカッションして取り組んでいます。これまで以上に当院スタッフ一同、患者様の社会復帰や疾病の改善・予防に一丸となって取り組み、期待に応えようと思っています。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

田上心臓リハビリテーション病院
理事長 **田上 貴一**

地域包括ケア病床当院実績 (集計期間：令和3年4月～9月)

当院地域包括ケア病床がスタートしたのが令和3年4月1日からでした。まだ1年を経過しておらず過去データとの比較対象は叶いませんが、在宅復帰率に関しましては低値となった単月を除きある程度、病床機能を果たし、施設基準を十分に満たす結果となったと判断しております。

※低値となった原因は、急変に伴う急性期への転院と退院困難と判断され当院療養への転出を余儀なくされた為



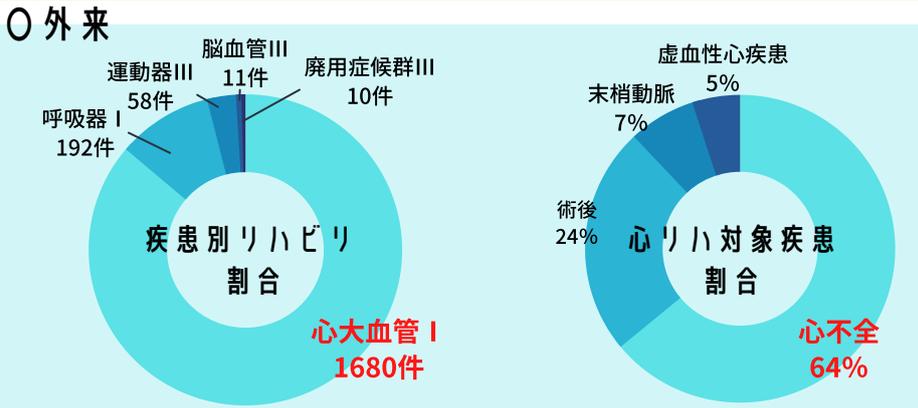
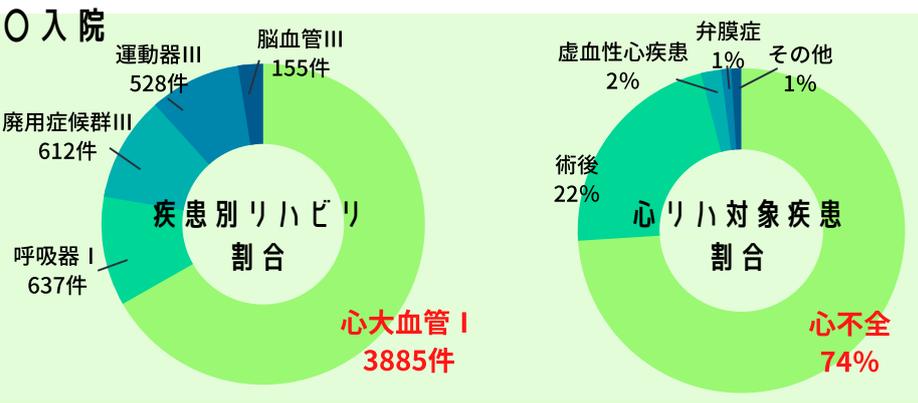
当院の地域包括ケア病床は始まったばかりで、未熟さや脆弱さも例外なく備えておりますがこの病床の持つ、ポストアキュート、サブアキュート、レスパイト、3つの支柱機能を今後も遺憾なく発揮し、この機能が他院様からの信頼と、地域の皆様の安心感に繋がるような形に成長していくことが出来ればと考えております。

新年もどうぞ、宜しくお願い申し上げます。

地域連携室：米谷 凡子

リハビリテーション当院実績

(集計期間：令和3年1月～12月)



前年と比較して

- ・入院、外来の合計件数は898件増加した
 - ・入院では心大血管疾患 I が1087件増加した
 - ・外来では心大血管疾患 I が103件減少した
- ※コロナ感染症予防による外来閉鎖期間が令和2年は22日に対して、令和3年は119日であったことが起因していると考えます。

〇その他

- ・心不全療養指導士 3名合格
- ・心臓リハビリテーション指導士 2名合格 (当院の有資格者は計7名)
- ・日本心臓リハビリテーション学会 第7回九州支部地方学会(令和3年11月6～7日) 演題発表
演題：「連携バスを使用した心臓術後の心臓リハビリテーションの試みと今後の課題」
演者：那須 信久 (Web発表)

今後も件数だけに捉われずに、より質の高いリハビリテーションを提供するために資格試験や学会発表などにも取り組んでまいります。

リハビリテーション科：那須 信久

医療法人社団 大玄会
田上心臓リハビリテーション病院
TANOUE CARDIAC REHABILITATION HOSPITAL
〒860-0842
熊本市中央区南千反畑町10-3
TEL:096-354-5885 FAX:096-354-5889
E-mail:info-tanoue@orion.ocn.ne.jp
HP:tanoue-heart-reha.com

診療時間

- 月～金曜日/9:00 - 17:30 昼休み 12:00 - 12:30
- 土曜日/9:00 - 12:00 土曜日の受付は12:00迄
※心療内科は田上理事長診察日(火・水・木)での対応
- 休診日/日曜日・祝日・土曜日午後
※急患はこの限りではありません。来院前にお電話ください。

～編集後記～ 日々に新たに 「人生にゴルフがある幸せ」 大嶋 秀一

明けましておめでとうございませす。当院が田上心臓リハビリテーション(心リハ)病院として心リハに特化した形でスタートして3年目になります。院内では循環器領域や心リハの勉強会を重ね、心リハ指導士7名、心不全療養指導士3名を有する施設になりました。他院より多くの心臓外科術後の患者さんや心不全の患者さんをご紹介頂き、入院、外来の心リハ件数は増加しています。今年さらさら日々の研鑽に励み、ご期待にそえるような安全で誠実な医療を提供したいと考えています。

さて、小生一向に上達しないゴルフをしておりまが、近代ゴルフが15世紀にスコットランドではじまって以来、これまでにいろいろ有名な名言・格言が残っています。

〇自分の性格は、コースに尋ねる
大人になると誰も欠点は教えてくれません。ゴルフコースにはいろいろな罫が仕掛けてあり、何も考えず打ってバンカーに捕まったり、スイングばかり気にして打ち損じて池に入れたり、冷静・沈着が必須の球技であり、ゴルフは自分の短所を教えてくれる教材としては申し分ないものです。

〇コースで大声を張り上げるものに、名人なし
確かにゴルフの名人は静謐(せいひつ)が特徴で、ミスショット時などで大声をあげて周りの不興を買いますが、やはり沈黙は金と心得るべきと思われます。

〇ゴルフと人生は同じ、誰にも頭上の星は見えない
真上の星を見ることが至難のように自分の運命は見えず、ゴルフもボールが最後のカップに入るまで何が起るかわかりません。

〇深く考えず、さっさと打て
これは私にとっても大事な格言です。アマチュアである私たちは完璧なショットをしたり、1mのパットでも100%入れたりはすることは所詮できません。「特にパットでは、技術もないのに時間ばかりかけると1秒毎に疑心暗鬼が増幅され、手首がスムーズに動かなくなる。パターに不必要な時間を浪費するのは、自惚れ屋、見栄っ張り、優柔不断、自己中心的な人物であり、友達に話したくないタイプである」(アイルランドが生んだ英雄、ハリー・ブラッドショー)と、手厳しい。要はスコア一ぱかりにとらわれず、コースの自然美を楽しみながら人生にゴルフがある幸せをかみしめることが大事なようです。本年もよろしくお祈りします。

(参考図書… ゴルフの神様夏坂 健著 講談社)